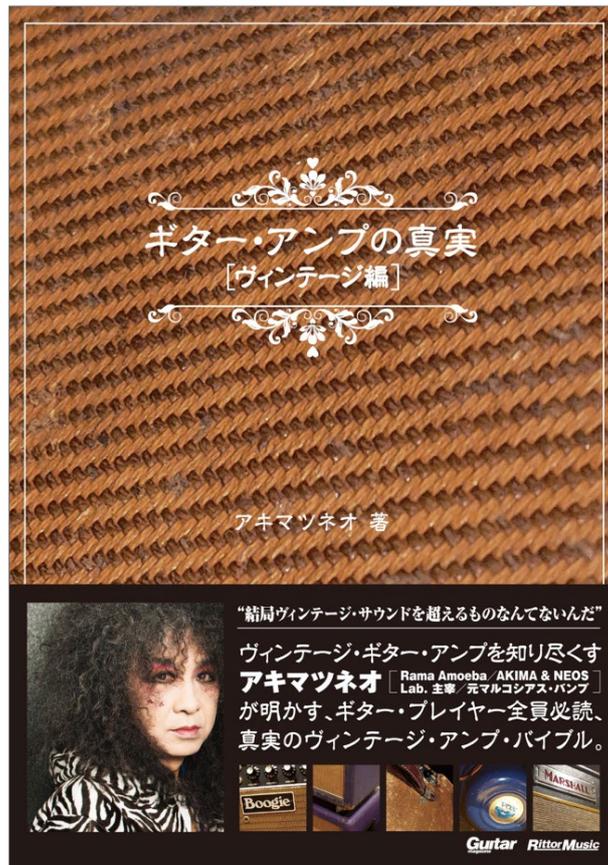


各 位

2024年6月12日
株式会社リットーミュージック

ヴィンテージ・ギター・アンプを知り尽くすアキマツネオ氏が明かす、
全ギタリスト必読、真実のヴィンテージ・ギター・アンプ・バイブル



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ギター・アンプの真実【ヴィンテージ編】』を、2024年6月20日に発売します。

本書は、2023年まで、音楽雑誌『Player』（プレイヤー・コーポレーション刊）にて連載されたコラム「アキマツネオ Rock Gear Review」を再構成、さらに著者による大幅な加筆修正・新規コンテンツを追加して編纂されたものです。

体験に裏付けされた豊富な知識を持つアキマ氏による英国、米国、国産、さまざまなモデルの解説は、ヴィンテージ・ギター・アンプに興味がある人ならば引き込まれてしまうこと間違いな

し！ 初心者も玄人もヴィンテージ・ギター・アンプの魅力を発見・堪能してもらえる1冊です。

第1章:英国アンプ



VINTAGE GUITAR AMPS
【第1章：英国アンプ】
VOX, MARSHALL, HIWATT etc...

Vox
AC30

英国が誇る名器 VOX AC30。後自身、大好きなアンプのひとつだ。このアンプに関しては、2か月ぐらいかけて徹底的に研究した事がある。

60年代始めに発売されたこのアンプは、ノーマル、トレブル、ベースの3タイプがあるが、今回は6インプットのノーマルタイプに限定して話をしたい(4インプットのモデルもあるし、とてもじゃないけど全ては書ききれない)。

6インプットモデルは、プリアンプ・チャンネル、ノーマル・チャンネル、ピプラー/トレモロチャンネルの3つそれぞれにハイインプットとローインプットが用意されていて、コントロールは各チャンネルのボリューム、ピプラー/トレモロのセレクターとそのスピード・セレクター、そして全チャンネル共通のトーンという構成だ。真

空音はECC83、ECC82、EL84で、整流管はGZ34。何と云ってもAC30のサウンドの要はパワー管にEL84を使っているという所が大きい。このパワー管は小さな出力しか取り出せないが、とても豊かなハーモニクスを持っている。実際測定はしていないが、すごく高い高域まで再生してくれているように感じる。そして質感がとてもやわらかだ。それとベストマッチと言えるスピーカーユニット、セレクション Blue Alnicoを搭載している。このスピーカーも高域特性に優れ、耳当たりが良く高効率で、アンプ部の良い所を凡事に引き出してくれている。

このアンプのクリーン・サウンドは、すぐレングじが広く感じる。AC30をしばらく弾いた直後にフェンダーのアンプを鳴らすと、同じクリーンでもAMラジオみたいなレンジの狭い音に感じたりするだろう。まあそんな比較をしなかったら、そう感じることもないだろう。

それにこのアンプはボリュームを上げるとかなり歪む。EL84は歪みやすい真空管だからね。そして30Wと言ってもかなり音がずかい。ステージでも充分な音量だ。

60年代当時のギタリストは、このアンプとダラスRangemasterを組み合わせて「1」使い、更にブーストしてご機嫌なディストーションを得ていた。Rangemasterはトレブルプスターとは違って中音的

*1 VOX AC30のダラスRangemasterは組み合わせた際、チャンネルには、12AX7、12AX7C、12AX7E、12AX7F、12AX7G、12AX7H、12AX7J、12AX7K、12AX7L、12AX7M、12AX7N、12AX7P、12AX7Q、12AX7R、12AX7S、12AX7T、12AX7U、12AX7V、12AX7W、12AX7X、12AX7Y、12AX7Z、12AX7AA、12AX7AB、12AX7AC、12AX7AD、12AX7AE、12AX7AF、12AX7AG、12AX7AH、12AX7AI、12AX7AJ、12AX7AK、12AX7AL、12AX7AM、12AX7AN、12AX7AO、12AX7AP、12AX7AQ、12AX7AR、12AX7AS、12AX7AT、12AX7AU、12AX7AV、12AX7AW、12AX7AX、12AX7AY、12AX7AZ、12AX7BA、12AX7BB、12AX7BC、12AX7BD、12AX7BE、12AX7BF、12AX7BG、12AX7BH、12AX7BI、12AX7BJ、12AX7BK、12AX7BL、12AX7BM、12AX7BN、12AX7BO、12AX7BP、12AX7BQ、12AX7BR、12AX7BS、12AX7BT、12AX7BU、12AX7BV、12AX7BW、12AX7BX、12AX7BY、12AX7BZ、12AX7CA、12AX7CB、12AX7CC、12AX7CD、12AX7CE、12AX7CF、12AX7CG、12AX7CH、12AX7CI、12AX7CJ、12AX7CK、12AX7CL、12AX7CM、12AX7CN、12AX7CO、12AX7CP、12AX7CQ、12AX7CR、12AX7CS、12AX7CT、12AX7CU、12AX7CV、12AX7CW、12AX7CX、12AX7CY、12AX7CZ、12AX7DA、12AX7DB、12AX7DC、12AX7DD、12AX7DE、12AX7DF、12AX7DG、12AX7DH、12AX7DI、12AX7DJ、12AX7DK、12AX7DL、12AX7DM、12AX7DN、12AX7DO、12AX7DP、12AX7DQ、12AX7DR、12AX7DS、12AX7DT、12AX7DU、12AX7DV、12AX7DW、12AX7DX、12AX7DY、12AX7DZ、12AX7EA、12AX7EB、12AX7EC、12AX7ED、12AX7EE、12AX7EF、12AX7EG、12AX7EH、12AX7EI、12AX7EJ、12AX7EK、12AX7EL、12AX7EM、12AX7EN、12AX7EO、12AX7EP、12AX7EQ、12AX7ER、12AX7ES、12AX7ET、12AX7EU、12AX7EV、12AX7EW、12AX7EX、12AX7EY、12AX7EZ、12AX7FA、12AX7FB、12AX7FC、12AX7FD、12AX7FE、12AX7FF、12AX7FG、12AX7FH、12AX7FI、12AX7FJ、12AX7FK、12AX7FL、12AX7FM、12AX7FN、12AX7FO、12AX7FP、12AX7FQ、12AX7FR、12AX7FS、12AX7FT、12AX7FU、12AX7FV、12AX7FW、12AX7FX、12AX7FY、12AX7FZ、12AX7GA、12AX7GB、12AX7GC、12AX7GD、12AX7GE、12AX7GF、12AX7GG、12AX7GH、12AX7GI、12AX7GJ、12AX7GK、12AX7GL、12AX7GM、12AX7GN、12AX7GO、12AX7GP、12AX7GQ、12AX7GR、12AX7GS、12AX7GT、12AX7GU、12AX7GV、12AX7GW、12AX7GX、12AX7GY、12AX7GZ、12AX7HA、12AX7HB、12AX7HC、12AX7HD、12AX7HE、12AX7HF、12AX7HG、12AX7HH、12AX7HI、12AX7HJ、12AX7HK、12AX7HL、12AX7HM、12AX7HN、12AX7HO、12AX7HP、12AX7HQ、12AX7HR、12AX7HS、12AX7HT、12AX7HU、12AX7HV、12AX7HW、12AX7HX、12AX7HY、12AX7HZ、12AX7IA、12AX7IB、12AX7IC、12AX7ID、12AX7IE、12AX7IF、12AX7IG、12AX7IH、12AX7II、12AX7IJ、12AX7IK、12AX7IL、12AX7IM、12AX7IN、12AX7IO、12AX7IP、12AX7IQ、12AX7IR、12AX7IS、12AX7IT、12AX7IU、12AX7IV、12AX7IW、12AX7IX、12AX7IY、12AX7IZ、12AX7JA、12AX7JB、12AX7JC、12AX7JD、12AX7JE、12AX7JF、12AX7JG、12AX7JH、12AX7JI、12AX7JJ、12AX7JK、12AX7JL、12AX7JM、12AX7JN、12AX7JO、12AX7JP、12AX7JQ、12AX7JR、12AX7JS、12AX7JT、12AX7JU、12AX7JV、12AX7JW、12AX7JX、12AX7JY、12AX7JZ、12AX7KA、12AX7KB、12AX7KC、12AX7KD、12AX7KE、12AX7KF、12AX7KG、12AX7KH、12AX7KI、12AX7KJ、12AX7KK、12AX7KL、12AX7KM、12AX7KN、12AX7KO、12AX7KP、12AX7KQ、12AX7KR、12AX7KS、12AX7KT、12AX7KU、12AX7KV、12AX7KW、12AX7KX、12AX7KY、12AX7KZ、12AX7LA、12AX7LB、12AX7LC、12AX7LD、12AX7LE、12AX7LF、12AX7LG、12AX7LH、12AX7LI、12AX7LJ、12AX7LK、12AX7LL、12AX7LM、12AX7LN、12AX7LO、12AX7LP、12AX7LQ、12AX7LR、12AX7LS、12AX7LT、12AX7LU、12AX7LV、12AX7LW、12AX7LX、12AX7LY、12AX7LZ、12AX7MA、12AX7MB、12AX7MC、12AX7MD、12AX7ME、12AX7MF、12AX7MG、12AX7MH、12AX7MI、12AX7MJ、12AX7MK、12AX7ML、12AX7MM、12AX7MN、12AX7MO、12AX7MP、12AX7MQ、12AX7MR、12AX7MS、12AX7MT、12AX7MU、12AX7MV、12AX7MW、12AX7MX、12AX7MY、12AX7MZ、12AX7NA、12AX7NB、12AX7NC、12AX7ND、12AX7NE、12AX7NF、12AX7NG、12AX7NH、12AX7NI、12AX7NJ、12AX7NK、12AX7NL、12AX7NM、12AX7NN、12AX7NO、12AX7NP、12AX7NQ、12AX7NR、12AX7NS、12AX7NT、12AX7NU、12AX7NV、12AX7NW、12AX7NX、12AX7NY、12AX7NZ、12AX7OA、12AX7OB、12AX7OC、12AX7OD、12AX7OE、12AX7OF、12AX7OG、12AX7OH、12AX7OI、12AX7OJ、12AX7OK、12AX7OL、12AX7OM、12AX7ON、12AX7OO、12AX7OP、12AX7OQ、12AX7OR、12AX7OS、12AX7OT、12AX7OU、12AX7OV、12AX7OW、12AX7OX、12AX7OY、12AX7OZ、12AX7PA、12AX7PB、12AX7PC、12AX7PD、12AX7PE、12AX7PF、12AX7PG、12AX7PH、12AX7PI、12AX7PJ、12AX7PK、12AX7PL、12AX7PM、12AX7PN、12AX7PO、12AX7PP、12AX7PQ、12AX7PR、12AX7PS、12AX7PT、12AX7PU、12AX7PV、12AX7PW、12AX7PX、12AX7PY、12AX7PZ、12AX7QA、12AX7QB、12AX7QC、12AX7QD、12AX7QE、12AX7QF、12AX7QG、12AX7QH、12AX7QI、12AX7QJ、12AX7QK、12AX7QL、12AX7QM、12AX7QN、12AX7QO、12AX7QP、12AX7QQ、12AX7QR、12AX7QS、12AX7QT、12AX7QU、12AX7QV、12AX7QW、12AX7QX、12AX7QY、12AX7QZ、12AX7RA、12AX7RB、12AX7RC、12AX7RD、12AX7RE、12AX7RF、12AX7RG、12AX7RH、12AX7RI、12AX7RJ、12AX7RK、12AX7RL、12AX7RM、12AX7RN、12AX7RO、12AX7RP、12AX7RQ、12AX7RR、12AX7RS、12AX7RT、12AX7RU、12AX7RV、12AX7RW、12AX7RX、12AX7RY、12AX7RZ、12AX7SA、12AX7SB、12AX7SC、12AX7SD、12AX7SE、12AX7SF、12AX7SG、12AX7SH、12AX7SI、12AX7SJ、12AX7SK、12AX7SL、12AX7SM、12AX7SN、12AX7SO、12AX7SP、12AX7SQ、12AX7SR、12AX7SS、12AX7ST、12AX7SU、12AX7SV、12AX7SW、12AX7SX、12AX7SY、12AX7SZ、12AX7TA、12AX7TB、12AX7TC、12AX7TD、12AX7TE、12AX7TF、12AX7TG、12AX7TH、12AX7TI、12AX7TJ、12AX7TK、12AX7TL、12AX7TM、12AX7TN、12AX7TO、12AX7TP、12AX7TQ、12AX7TR、12AX7TS、12AX7TT、12AX7TU、12AX7TV、12AX7TW、12AX7TX、12AX7TY、12AX7TZ、12AX7UA、12AX7UB、12AX7UC、12AX7UD、12AX7UE、12AX7UF、12AX7UG、12AX7UH、12AX7UI、12AX7UJ、12AX7UK、12AX7UL、12AX7UM、12AX7UN、12AX7UO、12AX7UP、12AX7UQ、12AX7UR、12AX7US、12AX7UT、12AX7UU、12AX7UV、12AX7UW、12AX7UX、12AX7UY、12AX7UZ、12AX7VA、12AX7VB、12AX7VC、12AX7VD、12AX7VE、12AX7VF、12AX7VG、12AX7VH、12AX7VI、12AX7VJ、12AX7VK、12AX7VL、12AX7VM、12AX7VN、12AX7VO、12AX7VP、12AX7VQ、12AX7VR、12AX7VS、12AX7VT、12AX7VU、12AX7VV、12AX7VW、12AX7VX、12AX7VY、12AX7VZ、12AX7WA、12AX7WB、12AX7WC、12AX7WD、12AX7WE、12AX7WF、12AX7WG、12AX7WH、12AX7WI、12AX7WJ、12AX7WK、12AX7WL、12AX7WM、12AX7WN、12AX7WO、12AX7WP、12AX7WQ、12AX7WR、12AX7WS、12AX7WT、12AX7WU、12AX7WV、12AX7WW、12AX7WX、12AX7WY、12AX7WZ、12AX7XA、12AX7XB、12AX7XC、12AX7XD、12AX7XE、12AX7XF、12AX7XG、12AX7XH、12AX7XI、12AX7XJ、12AX7XK、12AX7XL、12AX7XM、12AX7XN、12AX7XO、12AX7XP、12AX7XQ、12AX7XR、12AX7XS、12AX7XT、12AX7XU、12AX7XV、12AX7XW、12AX7XX、12AX7XY、12AX7XZ、12AX7YA、12AX7YB、12AX7YC、12AX7YD、12AX7YE、12AX7YF、12AX7YG、12AX7YH、12AX7YI、12AX7YJ、12AX7YK、12AX7YL、12AX7YM、12AX7YN、12AX7YO、12AX7YP、12AX7YQ、12AX7YR、12AX7YS、12AX7YT、12AX7YU、12AX7YV、12AX7YW、12AX7YX、12AX7YY、12AX7YZ、12AX7ZA、12AX7ZB、12AX7ZC、12AX7ZD、12AX7ZE、12AX7ZF、12AX7ZG、12AX7ZH、12AX7ZI、12AX7ZJ、12AX7ZK、12AX7ZL、12AX7ZM、12AX7ZN、12AX7ZO、12AX7ZP、12AX7ZQ、12AX7ZR、12AX7ZS、12AX7ZT、12AX7ZU、12AX7ZV、12AX7ZW、12AX7ZX、12AX7ZY、12AX7ZZ

Vintage British Amps 7

第2章:米国アンプ



インスペクタを表示します

VINTAGE GUITAR AMPS
【第2章：米国アンプ】
FENDER, MESA/BOOGIE etc...

Fender
Bassman
(5F6-A)

本格的なギターアンプのはじまりと言ったら、フェンダー Bassman だろう。中でもモデル 5F6-A というタイプ、いわゆるツェーデル期の、4X10 インチスピーカーを内蔵したコンボタイプで、その後リイシューされるのもこのモデルだ。

Bassman は2チャンネル構成で、ギターとベースの両方に使えるアンプ、とは言っても回路的にはトーンは共通。ブライトチャンネルの方のボリュームにハイパスフィルターが入っているだけなので、ボリュームを上げない時はブライト感があるが、ツェーデルが12時ぐらいになるとノーマルチャンネルと変わらなくなってしまふ。スピーカーもジェンセンのアルニコで、ベース用というわけではない。昔はギター用とベース用はハッキリと区別されてなくて、どちらでも大丈夫なものが多かった。アンプの回

路はその後マーシャルJTM-45がほぼ同じものを採用、言うまでもなく、もちろん Bassman がオリジナルだ。

ブリー部の初段真空管には、Bassman が12AY7を使っているのに対して、JTM-45はECC83(12AX7)、Bassmanの方がゲインの低い真空管を使っている。コンボタイプはスピーカーの振動が真空管に伝わりやすいため、マイクロフィニッシュが出るのを回避するためだと思ふ。また、ブリーチューブ・プットはシャーシに直止めではなく、ゴム製ショックマウントを介して固定されていたが、これも同じ理由だろう。現存するヴィンテージ Bassman は初段を12AX7に代えられているものが多いが、ゲインが高くて何の問題もない、むしろ歪みやすいのでこちらの方が好む人も多いはず。

電源の整流には整流管を使っていて、この真空管に音声信号は通らないが同形式のものでも音色はすごく変わる。一番ベストだと思ったのが、ヴィンテージのムラードGZ34のコギ型プレートで材質が銅パー(銅色)のものだ。残念ながら現在は入手するのがかなり困難な真空管のDとつになっている。

現存するBassmanはウォームな音色が好まれているが、発売当時はもっとブライトな音色だったと思う。それは50年という年月の賜物だ。これはハーツすべて

Vintage US Amps 65

第3章:国産アンプ



Teisco Check Mate 25

第1次エレキ・ブーム¹⁾というのは機がまだ小学生になる前なので、自分では体験していないけれど、今当時の機材をみると、それがいかに凄かったかわかるとりするんだ。中でもすごい人気だったブランドがテスコだった。今回はそのテスコの傑作アンプ、Check Mate 25だ。ずつと前、元グループ・サウンズのギタリストだった人に「その頃良かったアンプは？」と聞いてみたらCheck Mateだと言う人がいて、当時機は知らなかったけどそれから興味を持った。アメリカのアンプの本にも文章中にCheck Mateがしばしば登場する。特に注釈もなく、フンダーDeluxe Reverbなどと並べて書いてあって、アメリカでもかなりポピュラーだったのがわかる。

¹⁾ 日本でエレキ・ギターが最初にブームになったのは、ベトナムが2度、朝鮮半島が3度、台湾が1度、1950年代後半から1960年代前半にかけての期間だ。この期間には、エレキ・ギターの製造も盛んに行われていた。当時のエレキ・ギターは、ほとんどが日本製の楽器であった。

100Vと117Vの切り替えスイッチがリアパネルに付いていた。大量に輸出されていたんだろうね。時代的に、すべての日本製品は輸出されて日本は高度経済成長していたわけだからね。

それからかなりの年月が経ってCheck Mate 25に出会った。出力25Wのヘッドと12インチX1のスピーカー・キャビネットのセットだ。この頃の国産アンプは単長のスピーカー・キャビネットが多い。同時期のフンダー Bassman、Bandmasterなどの影響だろう。しかし、サイズ的には12X2みただけでスピーカーはセンターに1発だけだったりする。実際に見ると、ハリボテ的な感覚だ。

ヘッドはリハーブとトレモロ機能を持ち、トレブル、ベース、ボリュームのコントロール。これも当時のフンダーを踏襲する形だ。しかも調律的にはまったく違っている。まず、リハーブを使用する場合はリハーブ用のインプットがあり、そこに繋がないとリハーブは使えない。ギターからの信号がインプットされた所でいきなり分岐してリハーブ回路へという方式なので、リアンプのトーンの影響は受けない。当時の国産アンプはこの方式をとっていたものが多いね。

いずれにしても当時の国産アンプのリハーブは、リハーブ・ユニットが付属で、パネル裏に良質なものととは言いえない、独特な

第4章:ギター・アンプの真実～ヴィンテージ・アンプ応用編



Part 1 ー ギターの音作り、ベースの音作り

バンドでライブをやる場合、エレキ・ギターはアンプにマイクを立てて集音し、ミキサーへ送る。そしてPAから音を出す。ベース・ギターもアンプにマイクを立てて集音するが、それ以外にD.I.¹⁾を使い、アンプを通さない音をラインでミキサーに送る。ということが多い。同じエレキ・ギターの演奏も、しかも楽器自体の構造も変わっているのに、なぜその集音方法が違うのだろう？ この違いを考えてみたい。

歴史をたどって見れば、大昔のバンドライブでは、最初ベース・ギターの音もマイクで拾うだけだった。しかし時代と共にマイクだけではなく、ラインの音を使うようになっていった。

そして、バンドの中におけるベース・ギターという楽器の音は、音程感とかそういう点が大事な点だ。と気付くだろう。冒険で書いてるように、ラインの音を使う

っていうことは、アンプに入る前の音をミキサー卓に送り、ミキサー卓で音質とかを作っていることになる。つまり、それはベース・プレイヤー本人が望んだ音かどうかは2次の、そのライブがおこなわれる会場、ホールにも最も適した音、ミキシング・エンジニアの機で作る、という行程に近い。

繰り返しになるけど、これはベース・ギター特有の事情で、この方が音作りの幅も広いし、音程感といった楽器/ベース・ギター特有の大事な部分を、会場にも適した形で最大限に活かせるから、理にかなっている。

実際、自分が外タレのバンドのライブを見に行った時、ベース・ギターの音は確かに音程が正確な音を出してたよね。そんな印象がある。そしてそれはやっぱり



¹⁾ D.I. (ダイレクト・インジェクション) と呼ばれるのは Direct Injection Box が機能し、ベースに挿入して音を集音する。またその音のアンプ・インプット・ポートに出力し、ミキサーに直接送る。このD.I.は、バンドのライブやスタジオ録音でも、音程感の正確さが求められる。音程感の正確さは、バンドのライブやスタジオ録音に不可欠な要素である。

■ 書誌情報

書名：『ギター・アンプの真実【ヴィンテージ編】』

著者：アキマツネオ

定価：2,420 円（本体 2,200 円 + 税 10%）

発売：2024 年 6 月 20 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3123317122/>

CONTENTS

第1章：英国アンプ

Vox AC30

Vox AC15

Hiwatt DR-103

-Sound City 50

Sound City 120R

Marshall JTM-45

Marshall 1962 Bluesbreaker

Marshall 2098 Lead 100

Marshall 5005 Lead 12

Marshall 1967 "The Pig"

Marshall 1959

Marshall 2203 (JCM-800)

Orange OR-120

Selmer Treble 'N Bass 50

Watkins Westminster

Vampower 100W Multi (MK1)

H/H V-S Musician

Elgen Lead 100

コラム:ヴェレノ (Veleno) のアルミ・ギター

第2章：米国アンプ

Fender Bassman (5F6-A)

Fender Champ (5F1)

Fender Deluxe (5B3)

Fender Pro Reverb

Fender Super Champ

Fender Super Reverb (AB763)

Fender Twin Reverb

Fender Twin Reverb II

Hicks Mender I

Gibson GA-40 / BR-1

Supro S6606

Airline 62-9022A

Mesa/Boogie MKI

MusicMan HD-130R

MusicMan 410HD-130

MusicMan 110RD-50

Ampeg V-4

Ampeg SVT
Dumble Overdrive Special
Peavey Mace
Peterson P100G
Seymour Duncan Convertible 100
Soldano Super Lead Overdrive 100
コラム:真実の「Little Wing」の音

第3章：国産アンプ

Teisco Check Mate 25
Teisco Model 15
Guyatone GA-220
Guyatone GA-330
Guyatone GA-2200
Royal Super Bunny
Nihon Hammond Juggbox One
Shin-Ei Flying Monitor FA-100
コラム:アントリアのアコギ

第4章:ギター・アンプの真実 [ヴィンテージ・アンプ応用編]

ギターの音作り、ベースの音作り
スピーカー・ユニット——その歴史
スピーカー・ユニット——その種類
ヴィンテージ・セレクション・スピーカー
許容入力(耐入力)とアンプ・ヘッドの出力
真空管アンプの出力を下げる方法
ブースターを使った音作り
スピーカー構成の「正義」とは
真空管アンプの「クリーン音」
新たに作られる「ヴィンテージ・サウンド」アンプとは
その他のアンプ(イギリス編)
その他のアンプ(アメリカ編)
ブリッティッシュ・サウンドとアメリカン・サウンド
日本製のアンプ、その特徴とは

PROFILE

アキマツネオ

1984年にグラム・ロック・バンド、マルコシアス・バンプを結成。同バンドは89年～90年にTV番組「三宅裕司のいかすバンド天国」にてグランドイカ天キングを獲得、90年にメジャー・デビュー。10枚のアルバムを残すが96年に活動停止。その後ソロ活動を経て2008年に新

バンド RAMA AMOEBA を結成。09 年にユニバーサルよりアルバム 2 作同時発売という形でデビュー。以降欧州ツアーや海外フェスへの参加も含め、現在も勢力的に活動中。また T.レックス/マーク・ボランの熱狂的信奉者としても世界的に知られ、氏が主催するマーク・ボラン・トリビュート・イベント「GLAM ROCK EASTER」はすでに 30 年を超える歴史を持つ。同時に「アキマ&ネオス」という機材ブランドを主宰。主にギター/ベース・アンプをカスタムメイドで製作するが、一般の店頭で購入できるアンプやエフェクターも製作。多くのトップ・ミュージシャンの“駆け込み寺”的存在としても知られる。著作に『ヴィンテージ・エフェクターの真実』『ギター・アンプの真実』などがある。

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】<https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp